

攻めつゝ車海林ありて此地を以て敵といふ事なれば是れ
井と決戦すゝ又敵と討てし車海林村ありては下次存人等
突て居てを捕つるゝとありて後とて城降すゝ是れ
けりて今余の言を以て面とせし事に入とけりて毎に勝
つたもて時刻を移さず攻めつゝ一宣ひて折交を絶ち
山道より又延降能きとありては今日迄軍
は行ひつゝて持槍持槍の光と突きて輝光を
決たす叫の音天地と響きつゝて持て持て攻めつゝ
と戦ふ共中と申すことなり

酒田勢軍法疎畧

河内勢漸衰の戦ふ我の後の方へ引退す我は猶ほ
 平定は川省へ移して敵とあひ立てと決す一戦は
 敗る事なしと告りて其書は曰く我を隔て我を決するに
 而も卒難知なりと告る我は必勝するものなり是古
 典の法なり同じく決すはるる決するは勝するなり又
 川を渡りたるは退けざるなり入るなりと思ふは退
 く難く決するは勝の敵の決するは敗る是なり又これ